

評価方法
(1) 次の4段階評価で実施した。 A: 達成している、B: ほぼ達成している、C: どちらとも言えない、D: 取り組みを検討中または要改善
(2) ポイント数: A: 4点、B: 3点、C: 2点、D: 1点
(3) 基本項目評価計算方法: 「各区分のポイント合計」÷「項目数」(小数点第2位以下切り捨て)
(4) 基本項目評価点: A: 3.6点以上、B: 2.8~3.5点、C: 1.8~2.7点、D: 1.7点以下

点検項目	評価
1. 教育理念・目標等: $A(4) \times 5 = 20$ 点、 $B(3) \times 0 = 0$ 点 \Rightarrow 合計 $20/5 = 4.0$	A
1.1 教育理念は定められているか:	A
1.2 教育目標は定められているか:	A
1.3 育成する人材像は明確に示されているか:	A
1.4 育成する人材像は社会のニーズに合致しているか:	A
1.5 教育上の課題等を把握しているか:	A

2. 学校運営: $A(4) \times 6 = 24$ 点、 $B(3) \times 5 = 15$ 点 \Rightarrow 合計 $41/12 = 3.4$	B
2.1 日本語教育機関の告示基準に適合しているか:	A
2.2 短期、中長期の運営方針と経営目標が明確で、教職員に周知されているか:	B
2.3 管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営が行われているか:	A
2.4 運営組織や意志決定機能は確立され、効率的に機能しているか:	B
2.5 予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確であるか:	C
2.6 人事や賃金等の処遇・職場環境の改善の制度は整備されているか:	B
2.7 学生、入学志願者や経費支弁者に対し、母国語等で情報提供を行っているか:	A
2.8 外部情報活用や情報システム化等による業務の効率化が図られているか:	A
2.9 授業等の相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処しているか:	A
2.10 業務見直し及び効率的運営の検討が定期的、組織的に行われているか:	B
2.11 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか:	A
2.12 学校運営上の危機管理体制は整備されているか:	B

3. 教育活動

3.1 教育活動計画: $A(4) \times 5 = 20$ 点、 $B(3) \times 2 = 6$ 点、 $C(2) \times 0 = 0$ 点 \Rightarrow 合計 $26/7 = 3.7$	A
3.1.1 理念・教育目標に合致したコース設定をしているか:	A
3.1.2 教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成しているか:	B
3.1.3 「日本語教育の参照枠」等の熟達度枠組みを参考にレベル設定をしているか:	A
3.1.4 教育目標に合致した教材を選定しているか:	B
3.1.5 補助教材等使用時、出典の明示、著作権法上の制限事項等に留意しているか:	A
3.1.6 教育内容、教育方法に関して教員間の情報共有と共通理解が得られているか:	A
3.1.7 教員の資質能力、教育・他業務の経験等を勘案し、適切な教員配置をしているか:	A

3.2 教育活動の実施: $A(4) \times 6 = 24$ 点、 $B(3) \times 1 = 3$ 点 \Rightarrow 合計27 / 7 = 3.8	A
3.2.1 プレシメントテストで入学者の日本語能力を判定し、クラス編成に活用しているか:	A
3.2.2 教員に、担当学生の情報(学習目的、編成試験結果、学習歴等)を伝達しているか:	A
3.2.3 開示された学年暦及びクラス別進度表に基づき授業を行っているか:	A
3.2.4 授業日誌及び出席簿を備え、学則等に基づき正確に記録しているか:	A
3.2.5 理解度・到達度の確認テストを実施期間中に適切に行っているか:	A
3.2.6 学生が自己評価を把握できる仕組み作りをしているか:	B
3.2.7 個別学習指導等の学習支援担当者を特定し、適切な指導・支援を行っているか:	A

3.3 授業評価・成績判定: $A(4) \times 7 = 28$ 点、 $B(3) \times 3 = 9$ 点、 $C(2) \times 1 = 2$ 点、 $D(1) \times 1 = 1$ 点 \Rightarrow 合計 40 / 12 = 3.3	B
3.3.1 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか:	B
3.3.2 教員評価を的確に行っているか:	B
3.3.3 カリキュラムは体系的に編成されているか:	A
3.3.4 授業評価の実施・評価体制があり、その評価を定期的実施しているか:	D
3.3.5 評価体制、評価方法及び評価基準が適切であるか:	A
3.3.6 授業評価結果が教育内容改善、教員の教育能力向上等に反映されているか:	C
3.3.7 目標に向けて授業を実践できる要件・資質を備えた教員を確保しているか:	A
3.3.8 成績判定基準及び判定方法を明確に定めて開示し、適切に行われているか:	A
3.3.9 学生の成績判定評価は適切に行われているか:	A
3.3.10 成績判定結果を的確に学生に伝えているか:	A
3.3.11 成績の判定基準や判定方法の妥当性を定期的を検証しているか:	A
3.3.12 EJUやJLPTの合格率向上のための指導体制は整っているか:	B

3.4 教員関連: $A(4) \times 3 = 12$ 点、 $B(3) \times 3 = 9$ 点 \Rightarrow 合計 21 / 6 = 3.5	B
3.4.1 校長、教務主任、専任教員や非常勤教員の職務内容と責任・権限が明確であるか:	A
3.4.2 教育目標達成に必要な教員の知識、資質能力を明示しているか:	B
3.4.3 教職員の採用方法及び雇用条件を文書等で明示しているか:	A
3.4.4 教職員の研修等参加を促進し、教育の質の向上及び支援力強化を図っているか:	B
3.4.5 教育機関の信頼を図る為、倫理観、ハラスメント防止等の認識が統一されているか:	B
3.4.6 教職員の能力及び業績の評価を適時適切に行っているか:	A

4. 学修成果: $A(4) \times 6 = 24$ 点、 $B(3) \times 1 = 3$ 点 \Rightarrow 合計 27 / 7 = 3.8	A
4.1 入学から修了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適切に管理を行っているか:	A
4.2 修了・卒業の要件を学則等に定めて、その判定を適切に行っているか:	A
4.3 EJU、JLPT等の受験促進と結果把握による学生の能力向上を図り、公表しているか:	A
4.4 日本文化や商慣習、社会規範等の知識・理解向上の為の授業やイベントはあるか:	A
4.5 コミュニケーションスキルや問題解決能力の向上を図る仕組みはあるか:	B
4.9 卒業、修了後の進路先及び連絡先等を掌握しているか:	A
4.10 教育理念に基づく教育内容や教育方法について教員間で共通理解が得られているか:	A

5. 学生支援: $A(4) \times 12 = 48$ 点、 $B(3) \times 2 = 6$ 点 \Rightarrow 合計 $54/14 = 3.9$	A
5.1 進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか:	A
5.2 生活指導責任者が特定され、職務及び責任と権限を明確に定めているか:	A
5.3 教職員及び学生に生活指導責任者名が周知され、有効に機能しているか:	B
5.4 教務と事務の学生指導に関する区分が明示され、有効に機能しているか:	B
5.5 新生生に対してオリエンテーションを行うとともに在籍者全員に対し定期的に同様の内容を周知しているか:	A
5.6 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか:	A
5.7 日本社会への理解を深めてもらうために校外研修や部外の講義等を活用しているか:	A
5.8 学生の病気・事故・怪我へのサポート体制は有効に機能しているか:	A
5.9 重篤な疾病や傷害時の対応要領、感染症発生時の措置を定めているか:	A
5.10 学生全員が国民健康保険に加入し、併せて留学生保険に加入しているか:	A
5.11 アルバイトに関する適切な指導と勤務先の把握を行っているか:	A
5.12 学生のエージェントや家族と適切に連携しているか:	A
5.13 地震等の災害発生時の避難の方法、経路、場所等を定め定期訓練を行っているか:	A
5.14 気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知しているか:	A

6. 教育環境: $A(4) \times 8 = 32$ 点、 $B(3) \times 2 = 6$ 点 \Rightarrow 合計 $38/10 = 3.8$	A
6.1 教室内は、十分な照度、換気と遮音性が確保され語学教育に適切な環境にあるか:	A
6.2 授業時間外に自習できる部屋を確保しているか:	A
6.3 教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能であるか:	A
6.4 視聴覚教材やITを利用の授業が可能な設備や教育用機器を整備しているか:	A
6.5 教職員の業務を行うのに必要なスペースや机・椅子を確保しているか:	B
6.6 同時に授業を受ける学生数に応じた数のトイレが設置されているか:	B
6.7 法令上必要な消防設備等を備え、必要な点検が行われているか:	A
6.8 廊下、階段等は、緊急時に避難経路が確保され危険のない状態になっているか:	A
6.9 校舎は定期的に十分な清掃や修繕がなされ、清潔で安全な状態となっているか:	A
6.10 屋内外の禁煙箇所と喫煙箇所を区分・明示し、火災防止教育を実施しているか:	A

7. 入学者の募集

7.1 在留管理と生活指導: $A(4) \times 3 = 12$ 点、 $B(3) \times 1 = 3$ 点 \Rightarrow 合計 $15/4 = 3.8$	A
7.1.1 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか:	A
7.1.2 日本社会を理解するための支援が適切に行われているか:	A
7.1.3 我が国の法令を遵守させる指導を行っているか:	A
7.1.4 常に最新の母国の状況及び学生情報を把握しているか:	B

7.2 学生の募集と受け入れ: $A(4) \times 9 = 36$ 点、 $B(3) \times 2 = 6$ 点、 $C(2) \times 1 = 2$ 点 \Rightarrow 合計 $44/12 =$	A
7.2.1 理念・教育目標に沿った学生受入方針を定め、年間募集計画を策定しているか:	A
7.2.2 所属教職員が入学志願者に情報提供や入学相談を行う等、募集活動は適切であるか:	A
7.2.3 学生募集活動で教育内容、教育成果等、正確な学校情報は伝えられているか:	A
7.2.4 求める学生像、応募資格や条件が入学希望者の理解できる言語で開示されているか:	A
7.2.5 海外募集代理人の最新の正確な情報に基づく募集活動状況が把握できているか:	B
7.2.6 入学選考は公平な基準に基づき適切な体制で行われているか:	A
7.2.7 学生情報を正確に把握し、提出された根拠資料等により確認を行っているか:	A
7.2.8 教職員が現地に出向いて面接等に努めているか:	C
7.2.9 志願者の学習能力、勉学意欲、日本語能力、志望コースやニーズを確認しているか:	A
7.2.10 入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期が明確であるか:	A
7.2.11 関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されているか:	A
7.2.12 適正な定員設定及び在籍者数になっているか:	B

8 財務: $A(4) \times 2 = 8$ 点、 $B(3) \times 2 = 6$ 点 \Rightarrow 合計 $14/4 = 3.5$	B
8.1 所要の資金が確保され中長期的に学校の財務基盤が安定しているか:	B
8.2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか:	A
8.3 財務について会計監査が定期的に適正に行われているか:	A
8.4 財務情報公開の体制整備はできているか:	B

9 法令等の遵守: $A(4) \times 5 = 20$ 点、 $C(2) \times 1 = 2$ 点 \Rightarrow 合計 $22/6 = 3.7$	A
9.1 法令遵守担当者を特定し、法令、設置基準等の遵守と適正運営がなされているか:	A
9.2 教職員のコンプライアンス意識高揚の指導や取組みを行っているか:	A
9.3 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか:	A
9.4 出入国在留管理局及び関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか:	A
9.5 自己点検・評価規定を定めて点検を行い、問題点等の改善に努めているか:	A
9.6 自己点検・評価結果を公開しているか:	C

10 地域社会貢献: $C(2) \times 3 = 6$ 点 \Rightarrow 合計 $6/3 = 2.0$	C
10.1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか:	C
10.2 学生ボランティア活動を奨励し、支援を行っているか:	C
10.3 公開講座等を実施し、地域の皆さんと情報共有に努めているか:	C